

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮城県仙台市

●地域における現状・課題

- ・部員数の減少により、団体種目ではチーム編成に苦慮している学校が増えている。
- ・一人顧問体制や、自分の競技経験のない部活動を担当する等、部活動に関わる教師の負担が報告されている。
- ・地域移行に係る大きな課題は、地域の受け皿となる団体や指導者の不足である。

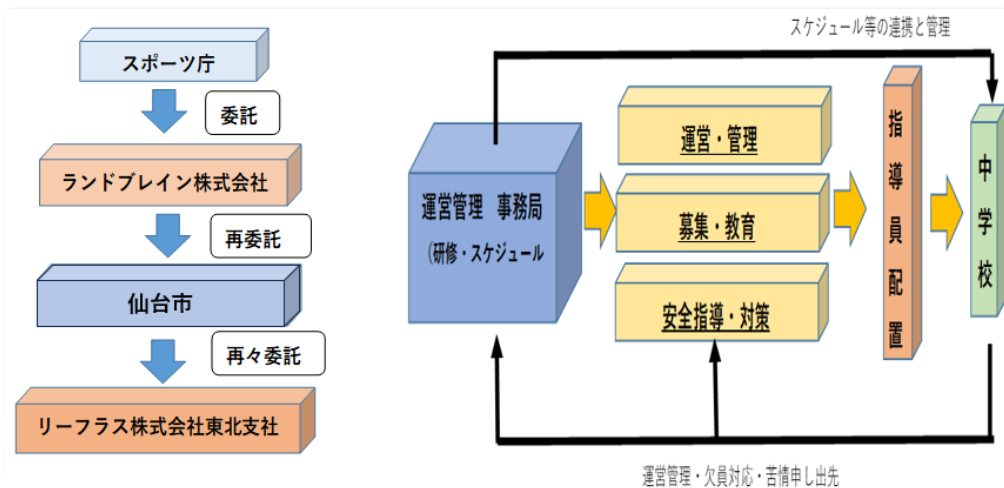
●取組事項の概要

- ・教育委員会主催(運営委託)のもと、市立中学校6校の野球部の生徒を対象に、休日の部活動において移行の実践。
- ・兼職兼業の教員、地域住民を指導員として活用、拠点式として新たな活動環境の検討。
- ・生徒、保護者、教員を対象にしたアンケート実施で課題の抽出、持続的な地域部活動のあり方を検討。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・市のスポーツ施設等を活用し、実証事業を実施。
- ・指導を希望する教員の兼職兼業を試行。
- ・複数校が集まる練習会を開催することで、生徒の意欲向上、平日の活動との差別化になった。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型（民間スポーツ事業者運営型）
- (2) 運営主体：リーラス株式会社東北支社
- (3) 種目：野球
- (4) 指導者の主な属性：会社員、教員（兼職兼用）
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- (6) 主な活動場所：球場等
- (7) 主な移動手段：保護者送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：なし
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円